



施設



環境
自然

47
まいん

べっし マイントピア別子 はでば (端出場ゾーン)



端出場記念館

マイントピア

別子(端出場ゾーン)

は、鉱山のテーマパークとして、平成3年(1991)6月5日にオープンしました。

(総事業費約48億円)

この地は、別子銅山の最後となった採鉱本部が昭和5年(1930)に設置された場所です。

湯に煙る
三百年の夢の跡

明治26年(1893)に下部鉄道の始発駅が完成したところから、昭和48年の閉山までの80年余り、別子銅山における重要な地位を占めていたため、この端出場地区には、数多くの近代化産業遺産が残されています。

鉱山鉄道跡には、当時上部鉄道を走っていた蒸気機関車がひと回り小さく縮小復元され、観光用鉱山列車として復活しています。



再現された別子1号



観光坑道の中の様子

観光坑道は、旧火薬庫跡を利用した延長333m(直線距離にすると、東京タワーと同じ長さ)の坑道です。人形や模型、映像などを駆使し、別子銅山の歴史を学習しながら、地底の神秘感を味わうことができます。

メインの建物となる端出場記念館は、レンガ調のモダンな造りとなっており、売店やレストラン、さらに「端出場温泉保養センター」(ヘルシーランド別子)が並設され、施設下を流れる足谷川の天然鉱泉を活かした、日本最大級の流水温泉風呂をはじめとする、13種類の入浴施設があります。

コンシェルジュ

別子の案内人

いしかわ つとむ
石川 勉

さんは、マイントピアを楽しく育てる会の観光ボランティアガイド部会長をなさっています。休日には、当施設を中心として、ご活躍されています。

いつも笑顔で、どなたにも分かりやすくご案内され、「また別子へ来よう！」というファンもいらっしゃいます。

また石川さん以外にも多くのボランティアガイドの皆さんがご活躍されています。

ふれあいめぐりあい



いしかわ つとむ
石川 勉さん

これな〜んだ?

この花々は、マイントピア別子の名物となっています。何という花かわかりますか?

答えは、裏にあります。

